

臨床研究の情報公開（オプトアウト情報公開）について

臨床研修3

研究課題名：「当院における腹腔鏡下子宮全摘手術症例、および腹式子宮全摘手術症例の手術成績に関する研究」

研究の目的：子宮全摘術は、子宮腫瘍（主に良性腫瘍と一部の初期悪性腫瘍）に対して行われる術式であり、当院では、腹腔鏡下子宮全摘術、及び開腹子宮全摘術を行っております。これらの術式の選択には、主に、患者様のご希望、既往歴、画像診断所見を基に決定しております。

本研究は、当院にて子宮腫瘍の診断で子宮全摘手術を行った患者様の諸々の診療情報（年齢、既往歴、検査値、画像診断等）を集積し、そのデータを詳細に精査、分析した結果を基に子宮全摘術のより安全で適切な手術の選択、遂行（特に、より適切な術式の選択）に寄与することを目的としています。

研究の期間：2010年1月から現在までに子宮腫瘍の診断手術で手術を行った患者様と致します（データの集積は現在も進行中です）。

研究の方法：上記期間内に当院で子宮腫瘍の診断となり子宮全摘術をされた患者様の諸々の診療情報（年齢、既往歴、検査値、画像診断、手術所見、病理診断等）を診療記録より抽出して集計致します。

個人情報の取り扱い：本研究で得られたデータ解析結果の公表（学術講演会での発表や医学雑誌への論文投稿）に際しましては、患者様を特定できないように氏名や住所等の個人情報を完全に伏せ状態で行います。

その他：本研究では、患者様への費用の負担や謝礼はありません。また、本研究にかかわる利益相反もありません。

実施責任者：福島赤十字病院 産婦人科部長 矢澤浩之